

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業の概要

1 趣旨

地域医療構想の実現に向けた取り組みを推進するため、地域の医療需要の推移、医療資源等に関してデータ分析を行い、地域医療の現状把握や課題の抽出を図る。

2 データ分析の体制

- 診療に関する学識経験者（京都大学・京都府立医科大学）
- 医療関係団体（京都府医師会・京都府病院協会・京都私立病院協会）
- 地域医療構想アドバイザー

3 分析内容

	令和5年度	令和6年度
利用データ	国保・後期高齢レセプト、健診データ、三師調査等	D P C データ、救急搬送データ
分析内容	○医療資源利用の地域差 ・急性期入院・外来患者数の地域差 ・地域間の越境受診 ・医療資源へのアクセスの地域差 ○医療需要の将来推計 ○医療従事者数の将来推計 ○医療機関間連携の可視化 ○疾患コホート追跡による診療過程の可視化	○医療機関・医療区分別にみた療養病床のべ入院日数の分布 ○医療機関別・M D C（主要診断群）別にみた入院件数と地域内シェアの分布 ○地域別の臨床指標（R6 収集の D P C データに基づく） ○地域別の救急搬送の実態 ○地域別の訪問診療の概況

4 スケジュール

令和5年5月～ 事業内容にかかる関係者協議、データ分析開始

令和6年3月 病院向け分析結果報告会の開催

令和6年9月～ D P C データの収集・分析

令和6年10月～ 各地域医療構想調整会議での報告

令和7年4月～ D P C データ協力医療機関へのフィードバック

各地域医療構想調整会議での報告

※令和7年度も本データ分析事業に応募し、引き続きデータ分析を継続予定